

# 子どもの未来全力応援 ～5つの柱～（令和7年度新規・拡充事業等）



## 令和7年度 拡充予算額 20.8億円

◎…新規事業

○…拡充事業

### 子育て家庭【7.5億円】

#### ①子どもを持ちたいという希望が実現できる

◎乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）  
（子ども青少年局）

◎高等学校等給付型入学支援金（教育委員会）

○産前・産後ヘルプ事業（子ども青少年局）

○産後ケア事業（子ども青少年局）

○妊婦のための緊急時タクシー利用券の支給（子ども青少年局）

○私立高等学校授業料補助（教育委員会）

#### ②子育て中でも希望どおりに働ける

○子育て支援企業認定・表彰制度（子ども青少年局）

雇用等における女性の活躍推進（スポーツ市民局）  
＜男性の家事・育児等参画促進に関する意識啓発 ・  
共働きカップルのロールモデル発信＞

### 若者【6.3億円】

#### ③結婚の希望がかなう

◎結婚新生活支援事業（子ども青少年局）

婚活イベント及び事前セミナーの開催（子ども青少年局）

ライフデザインセミナーの開催（子ども青少年局）

若者の意識等調査（子ども青少年局）

### 子ども【6.2億円】

#### ④自分の思いが大切にされる

◎子ども・若者への文化体験提供事業（観光文化交流局）

◎子どもの体験活動交通費助成モデル事業（子ども青少年局）

○子ども会活動の振興（子ども青少年局）

○児童館における中高生の居場所づくりの推進  
（子ども青少年局）

○子どもの体験活動拠点の設置に向けた調査（子ども青少年局）

○校内の教室以外の居場所づくり（教育委員会）

小中高生起業家人材育成事業（経済局）

### 社会【0.8億円】

#### ⑤社会全体で子育てを応援

○シティプロモーションの推進（総務局）

○バリアフリー整備相談支援事業（健康福祉局）

子育てに温かい社会気運の醸成（子ども青少年局）

地域に身近な公園の再生（緑政土木局）

子ども連れが利用しやすい地下鉄駅等の環境整備（交通局）



# 子どもを持ちたいという希望が実現できる（１）



## 新規 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

令和7年度当初予算額：1億7,665万円

全ての子どもの育ちを応援し、子育て家庭に対する支援を強化するため、0歳6か月から満3歳未満の子どもの通園支援を開始します。

対 象：市内在住の0歳6か月から満3歳未満の未就園児  
内 容：保護者の就労要件を問わず、月10時間までの利用を上限とした通園支援を、市内の保育所・認定こども園・幼稚園（32か所程度）で実施  
事業開始：令和7年秋ごろ（予定）



（担当：子ども青少年局 保育部 保育企画課）

## 新規 高等学校等給付型入学支援金

令和7年度当初予算額：3億3,819万円

経済的に就学の支援が必要と認められる者に対し、高等学校等入学時の費用を給付する制度を創設します。

対 象：愛知県内の中学校に在学している市内在住の中学3年生等で、愛知県内の高等学校等（通信制課程においては県外を含む。）への進学にあたり、経済的に就学の支援が必要と認められる者（収入目安：590万円未満／4人世帯）  
内 容：高等学校等入学時に要する費用の支援として7万円を給付  
事業開始：令和8年度入学者を対象に令和7年夏ごろに申請開始

（担当：教育委員会事務局 教務部 学事課）



# 子どもを持ちたいという希望が実現できる（２）



## 拡充 産前・産後ヘルプ事業

令和7年度当初予算額：563万円

単胎の利用者がより活用しやすくなるようにするため、利用期間を延長します。



内 容：単胎の利用者の利用期間を「妊娠中から産後6か月まで」から「妊娠中から産後1年まで」に延長

拡充時期：令和7年10月から

（担当：子ども青少年局 子育て支援部 子育て支援課）

## 拡充 産後ケア事業

令和7年度当初予算額：673万円

産後ケアを必要とするすべての者が利用できるようにするため、利用要件の緩和等を実施します。

| 内 容：    | 拡充後                                                                 | 拡充前                                                                  |
|---------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 利 用 要 件 | 産後ケアを必要とするすべての者                                                     | 入院を要しない程度の体調不良があり、育児不安があり、かつ、家族等から十分な援助が受けられない者                      |
| 利 用 期 間 | 出産後1年間                                                              | 原則、出産後4か月間                                                           |
| 利 用 料   | 母親及び配偶者の合計所得が730万円以上の者<br>宿泊型 3,520円/日 通所型 2,360円/日<br>訪問型 1,560円/日 | 母親及び配偶者の合計所得が730万円以上の者<br>宿泊型 11,020円/日 通所型 7,270円/日<br>訪問型 4,800円/日 |

拡充時期：令和7年10月から

（担当：子ども青少年局 子育て支援部 子育て支援課）



# 子どもを持ちたいという希望が実現できる（3）



## 拡充 妊婦のための緊急時タクシー利用券の支給

令和7年度当初予算額：1,655万円

妊婦が緊急時の医療機関等への移動の際に躊躇なく利用できるようにするため、利用要件を拡充します。

- 拡充後利用要件：
- ・ 出産のために医療機関等を利用するとき
  - ・ おおむね妊娠7か月までに、体調不良で医療機関等を利用するとき
  - ・ おおむね妊娠8か月から出産後、医療機関等を利用するとき（妊産婦健康診査、乳児健康診査、子どもの体調不良による受診を含む。）
  - ・ 妊娠中または出産後、外出先での体調不良で、自宅等へ帰宅するとき



拡 充 時 期：令和7年7月から

（担当：子ども青少年局 子育て支援部 子育て支援課）

## 拡充 私立高等学校授業料補助

令和7年度当初予算額：1億9,596万円

保護者負担の軽減を図るため、授業料の補助額を増額し、第1子・第2子の生徒に対する所得制限を撤廃するとともに、通信制の高等学校に通う生徒への補助を新設します。

- 対 象：愛知県の私立高校授業料補助の対象外となる世帯（収入目安：840万円以上/4人世帯）
- 内 容：世帯の収入、学年に応じて、授業料を補助  
（全日制・定時制）年額28,800～49,800円（通信制：1・2年生）年額2,200～3,600円



拡充時期：令和7年4月から

（担当：教育委員会事務局 教務部 学事課）



# 子育て中でも希望どおりに働ける



## 拡充 子育て支援企業認定・表彰制度

令和7年度当初予算額：47万円

子育てにやさしい活動等を積極的に行う企業の拡大を図るため、制度の若者向け情報発信等を拡充します。

内 容：就職展への出展、就職情報サイト等への広告掲載等による広報を新たに実施



(担当：子ども青少年局 企画経理課)

## 雇用等における女性の活躍推進

令和7年度当初予算額：500万円

男性の家事・育児への参画意識が高まるよう、啓発イベント等を実施します。

内 容：商業施設において、家事や育児に関係する民間企業と連携した啓発イベントを実施

令和7年度当初予算額：400万円

(担当：スポーツ市民局 市民生活部 男女平等参画推進課)

共働きカップルのロールモデルを発信します。

内 容：仕事と家事・育児等を両立する具体的なイメージがもてるよう、共働きカップルのロールモデルを発信

令和7年度当初予算額：100万円

(担当：スポーツ市民局 市民生活部 男女平等参画推進課)

若者

# 結婚の希望がかなう（１）



新規

## 結婚新生活支援事業

令和7年度当初予算額：5億8,773万円

新婚世帯を対象に、新生活の住まいの確保に必要な費用の一部を助成します。

- 対 象：夫婦ともに39歳以下の市内居住の新婚(法律婚・ファミリーシップ宣誓者)で  
世帯所得500万円未満の世帯
- 補助内容：婚姻に伴う住居費用・引越し費用を補助  
夫婦ともに29歳以下の世帯は60万円、その他の世帯は30万円を上限に補助



(担当：子ども青少年局 企画経理課)

## 婚活イベント及び事前セミナーの開催

令和7年度当初予算額：1,000万円

結婚の希望を後押しするための婚活イベントを引き続き開催します。

- 対 象：市内在住・在勤・在学の20歳以上39歳以下の独身の方
- 内 容：大規模婚活イベント(定員250名)年2回に加えて、新たに小規模イベント(定員50名)年1回を開催  
イベント開催とあわせて、婚活に向けたスキルアップのためのオンラインセミナーを開催



(担当：子ども青少年局 企画経理課)

若者

## 結婚の希望がかなう（2）



### ライフデザインセミナーの開催

令和7年度当初予算額：3,200万円

若者が将来のライフデザインを描くことができるよう、セミナーを開催します。



- 対 象：高校生世代に加え、新たに大学生世代及び新社会人世代を対象に追加
- 内 容：高校・大学の授業等において、その後の人生を大きく方向付ける可能性が高いライフイベント（進学や就職、結婚、妊娠・出産、子育てなど）に関して、自分自身の考えや見通しをあらかじめ整理するために必要な知識等を提供し、参加者が実際にライフデザインを描くセミナー等を実施

（担当：子ども青少年局 企画経理課）

### 若者の意識等調査

令和7年度当初予算額：500万円

さまざまな理由から将来展望を描けずにいる若者等の状況を把握し、支援策を検討するため、実態調査を実施します。

- 対 象：市内在住の18歳から39歳
- 方 法：Webアンケート
- 調査内容：主に未婚の若年層を対象に、意識、経済的状況、将来や結婚への考え方について調査



（担当：子ども青少年局 企画経理課）

## 子ども

# 自分の思いが大切にされる（１）



## 新規 子ども・若者への文化体験提供事業

令和7年度当初予算額：6,000万円

民間企業等からの寄附を財源として、本市発のスタートアップ企業と連携し、市内在住の子どもを対象とした様々な文化体験機会を提供します。

対 象：市内在住の子ども（0歳～大学院生まで）

内 容：民間企業等の法人が地方自治体へ寄附を行う際の税控除制度を活用し、次のような取り組みを実施

- ・オーケストラや舞台芸術の公演など、既存の文化体験イベントのチケットを無償で提供
- ・寄附者との共創により新たな文化体験イベントを企画・実施し、無料で招待
- ・市独自の子ども向け事業

（担当：観光文化交流局 文化歴史まちづくり部 文化芸術推進課）

## 新規 子どもの体験活動交通費助成モデル事業

令和7年度当初予算額：6,100万円

親子で様々な場所に出かけ、子どもの体験につながる機会を創出するため、小学生を対象にした子どもの体験活動に係る交通費の助成を試行的に実施します。

対 象：市内在住の小学生 7,000人（モニター方式）

内 容：様々な体験活動に係る交通費として、3,000円分のマナカチャージ券を配付

実施時期：令和7年度の夏季休暇中

（担当：子ども青少年局 企画経理課）

## 子ども

# 自分の思いが大切にされる（2）



## 拡充 子ども会活動の振興

令和7年度当初予算額：2,488万円

子どもや保護者にとって魅力的な子ども会活動をめざし、活動の活性化につなげるための支援の充実を図ります。

- 内 容：
- ・ ICTツールの活用促進  
ICT活用により運営の効率化が進むように、専門家を子ども会に派遣をして、子ども会の運営実態を踏まえた具体的な助言等を実施
  - ・ 地域子ども会運営マニュアルの作成  
地域子ども会の役員の不安や負担を減らすために、子ども会運営のマニュアルや相談事例集を作成
  - ・ 子ども会デジタルプラットフォームの整備  
各子ども会活動の好事例や運営の効率化に関する実践例など、区・学区・地域子ども会の情報を収集し発信するとともに、子ども会に関する支援情報等をまとめたデジタルプラットフォームを構築
  - ・ 子ども会活動アシストバンク事業の充実  
行事の運営補助者の派遣を始め、行事の企画、準備段階からの相談支援等を実施し、保護者負担の軽減や活動の魅力向上を図る子ども会活動アシストバンク事業について、実施区を拡大（4区→8区）
  - ・ 子ども主体の子ども会活動の推進  
子どもが主体的に子ども会行事を企画し、当日の運営等を行う取り組みについて、保護者以外の支え手に関わる新たな形で行うモデル事業を実施  
※子ども会活動が行われていない地域が増加している状況を踏まえ、区などの大きな単位で実施（2か所）



（子ども会で行われたワークショップの様子）

（担当：子ども青少年局 子ども未来企画部 青少年家庭課）

## 子ども

# 自分の思いが大切にされる（3）



### 拡充

## 児童館における中高生の居場所づくりの推進

令和7年度当初予算額：3,200万円

児童館に中高生が気軽に立ち寄ることができるよう実施する「中高生の居場所づくり事業」について、中高生との関わり方等についてノウハウのある専任スタッフを配置するモデル事業の実施館を拡大して実施します。

実施館：専任スタッフ配置館 1か所 → 4か所

開設時間：週3回 17時から20時

※児童館の通常開館時間は8時45分から17時

（担当：子ども青少年局 子ども未来企画部 青少年家庭課）

### 拡充

## 子どもの体験活動拠点の設置に向けた調査

令和7年度当初予算額：1,200万円

子どもの体験活動の拠点となる施設の設置に向けて、活動プログラムのモデル事業を実施します。

内容：子どもたちに活動プログラムを実際に体験してもらい、参加者の声をもとに活動プログラムの改善を図るとともに、本格実施に向けて必要なプログラムの検討を実施

（担当：子ども青少年局 子ども未来企画部 子ども未来企画課）

### 拡充

## いじめ防止・不登校児童生徒支援 ～校内の教室以外の居場所づくり～

令和7年度当初予算額：3億6,540万円

教室に入れない子どもが安心して学校生活を送ることができるようにするため、校内の教室以外の居場所づくりの実施校数を拡大します。

実施校：小学校 0 → 5校  
中学校 87 → 110校

内容：専任の教員を各校へ配置し、余裕教室等を活用して、子ども一人一人の状況に応じた適切な学習指導や生活指導を実施

（担当：教育委員会 新しい学校づくり推進部 新しい学校づくり推進課）

## 小中高生起業家人材育成事業

令和7年度当初予算額：6,310万円

起業家精神（アントレプレナーシップ）を備えた人材を育成し、次世代の起業家の創出を促進するため、成長段階や関心に応じた各種プログラム等を実施します。

- 内 容：
- ・ 起業家入門プログラム（小学生等）  
ゲームを通じて社会や経済の仕組みを学ぶワークショップや保護者とともにアイデア創出を学ぶワークショップを実施
  - ・ 起業家教育授業（小学生・中学生）  
教育委員会と連携し、学校教育におけるキャリア教育の一環として、起業家教育の校数を拡大して実施
  - ・ IT・AI活用起業体験プログラム（中学生・高校生）  
IT・AIを活用したプログラミング学習や起業を体験するワークショップを実施
  - ・ ディープテックプログラム（高校生）  
大学と連携し、宇宙をテーマにした実践的なワークショップや、最先端技術の海外視察を実施



（担当：経済局 イノベーション推進部 スタートアップ支援課）

社会

# 社会全体で子育てを応援（１）



## 拡充 シティプロモーションの推進

令和7年度当初予算額：4,000万円

ターゲットを設定した効果的な取り組みや企業等と連携したプロモーション等を実施し、名古屋ブランドの確立をめざします。

- 内 容：・メディアやイベント等を活用したプロモーション  
若年層及び子育て世代をメインターゲットと設定し、市内を中心にブランドロゴ等の普及や名古屋の魅力を直接訴求するプロモーションを実施
- ・企業等との連携  
企業等と共に幅広い対象に向けてブランドロゴ等の普及や名古屋の魅力を発信
  - ・庁内との連携  
全庁的なプロモーション力の強化に向けて、職員研修等を実施

（担当：総務局 企画部 企画課）

## 拡充 バリアフリー整備相談支援事業

令和7年度当初予算額：3,548万円

子育て中の方や、障害者、高齢者等の配慮が必要な当事者が市で行う施設整備に参画する場を設けることで、バリアフリーのまちづくりにつながる取り組みを実施します。

- 内 容：・「当事者参画の場」の開催  
当事者参画の場を定期的を開催し、市が行う施設整備について当事者の意見を聴取
- ・研修・啓発等  
施設等所管課及び施設職員に対しバリアフリーに関する研修を実施するほか、当事者参画により出された意見の概要を公表し、市が行う施設整備に役立てるとともに、民間事業者への啓発につなげる。

事業開始：令和7年9月 「当事者参画の場」開始

（担当：健康福祉局 障害福祉部 障害企画課）

社会

# 社会全体で子育てを応援（2）



## 子育てに温かい社会気運の醸成

令和7年度当初予算額：183万円

子どもや妊婦の優先レーンなどを設置する「こどもファスト・トラック」の実施施設の拡大を図ります。

内 容：民間施設での実施拡大を図るため、周知啓発を通じて、民間事業者の取り組みを促進



令和7年度当初予算額：50万円  
(担当：子ども青少年局 企画経理課)

妊婦、ベビーカー優先エレベーターへのラッピングなど、子連れ世帯等が移動しやすい環境整備の啓発等を実施します。

内 容：商業施設等における、妊婦・ベビーカー優先エレベーターへのラッピングなど、子連れ世帯等が移動しやすい環境整備の啓発等を通じて、子どもや子育て家庭にやさしい社会づくりの気運を醸成



令和7年度当初予算額：133万円  
(担当：子ども青少年局 企画経理課)

社会

# 社会全体で子育てを応援（3）



## 地域に身近な公園の再生

令和7年度当初予算額：500万円

公園を子どもが元気いっぱい遊び楽しめ、憩いと潤いのある空間とするため、計画的な再整備を推進します。

内 容：市全体の身近な公園の再生を効果的に進めていくための指針を策定



（担当：緑政土木局 緑地部 緑地事業課）

## 子ども連れが利用しやすい地下鉄駅等の環境整備

令和7年度当初予算額：（債務負担行為）

地下鉄名城・名港線車両へ「子ども・子育てサポートスペース」を設置します。

内 容：令和10年度以降更新予定の新型車両にベビーカー利用の方や  
お子さまが利用しやすいスペースを設置



（担当：交通局）